(C)十勝毎日新聞社

濱下・江口組 帯大谷高 準V

国体道予選会兼道体育大会

【少年女子ダブルス決勝】チャンスでシャルをたたき込む帯大谷高の江口碧（右）。濱下亜美（左）が相手の守備をうまく崩した

バドミントン 第77回国体北海道予選会兼道体育大会（日本スポーツ協会など主催）が6～8日、よつ葉アリーナ十勝で行われた。少年、成年各男女シングルス、ダブルスが実施され、少年女子ダブルスで帯大谷高の濱下亜美・江口碧組（3年・2年）が準優勝を果たした。濱下は同シングルスでも3位と健闘した。少年男子シングルスでは同校の松本悠汰（2年）が4位に食い込んだ。（大野篤志）

【少年男子シングルス】2年生で唯一ベスト4入りと健闘した松本悠汰（帯大谷高）

完敗のライバルに雪辱誓う

濱下・江口

少年女子ダブルス準優勝の（左から）濱下亜美・江口碧組（帯大谷高）。濱下はシングルスでも3位入賞を果たした

「ゲームへの入り方が悪く、決め急いでミスしてしまう。自分たちでペースをつくれなかった」。ダブルスで十勝勢唯一決勝に進出した少年女子の濱下亜美・江口碧組は敗戦に肩を落とした。

決勝の相手は、昨年8月の北海道選手権の準決勝で0―2のストレート負けを喫し、1月の全国高校選抜大会北海道予選会の個人戦決勝では1―2で惜敗した獅子原瑚桜（こすも）・嶋村瑞希組（旭川南高3年）。選抜予選団体戦では旭川南を倒して9年ぶりの優勝を果たしたが、ダブルスのエース対決でも獅子原・嶋村組に敗れており、今回も含めて同じ相手に4連敗となった。

第1ゲームは、立ち上がりから相手にペースを握られた。体の正面を突かれたり、構えとは逆に打ち込まれたりするなど相手のいやらしいほどの球回しに翻弄（ほんろう）された。「攻めができなくて、守りに回ってしまった」と江口。連続失点も響き、6―13から一気に押し切られた。

第2ゲームも立ち上がりは0―5と追う展開。1―7からサーブポイントや、後衛の濱下の崩しから引き出したチャンス球を江口が決めるという攻めの形ができて、連続ポイントで14―8と逆転した。しかし、自らのミスで相手のように押し切ることができず、逆転された。濱下は「一回のミスから流れを取り戻すことができなかった」と悔しさをにじませる。江口は「苦手のレシーブのミスが多かった」と振り返った。

6月21日から始まる全国高校総体（インターハイ）道予選まで1カ月半。濱下、江口共にシングルスでは2人に勝っており、力は上回っている。インターハイに団体、個人戦そろって出場するにはダブルス戦に長（た）けた相手を倒さなければならない。

入江優喜監督は「点を欲しがってミスをしている。じっくり長いラリーで点を取ることを意識してほしい」と獅子原・嶋村組のように状況に合わせたプレー展開、戦術の熟度を求める。濱下は「相手の球に速く反応してミスを減らすこと」と課題に向き合う。江口は「高体連は北大会で優勝し、南との決戦も勝ちます」と決意を込めた。

少年単 女子 濱下3位 男子 松本4位

強豪との連戦「足足りない」

松本

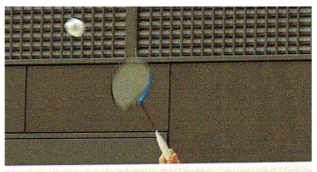
○…少年男子シングルスで松本悠汰が2年生ではただ一人ベスト4入りを果たすも、「プレーに余裕がなく、苦手も克服できていない」と自分を厳しく見詰め直していた。

3回戦で、ライバルとなる旭川実高の伊藤彰悟（3年）を1月の全国高校選抜大会北予選に続いて撃破。準々決勝では南北海道の強豪、札幌龍谷高の畠山大和（同）をファイナルゲームにおよぶ熱戦に末に破った。しかし、準決勝、3位決定戦では旭川実高の選手に連敗。「最後までベストパフォーマンスを発揮できる足が足りなかった」とスタミナとスピード不足を痛感した。ヘアピンショットに自信を持っている半面、「使い過ぎる」という欠点も自覚する。

高体連十勝支部予選に出るためには厳しい校内選考会を突破しなければない。「3年生がしっかりと戦ってくるので、自分も立ち向かい、同級生には圧倒したい。コースで勝負するだけでなくフットワークを上げて速いペースでの試合をしていく」と気合を入れた。

勝ち切れなかった

少年女子シングルス3位・濱下亜美の話 勝つべきところで勝ち切れなかったのは自身に納得がいかないし、悔しい。気持ちが弱く、諦めていた。誰が見ても強いと納得してもらえるプレーを身に付けたい。



【少年女子シングルス】準々決勝、準決勝、3位決定戦とファイナルにもつれる激戦を戦い抜いた濱下亜美（帯大谷高）

【少年男子シングルス】2回戦、3回戦を勝ち上がり8強入りした瀬藤智史（帯大谷高）

粘り切れなかった

少年男子シングルスベスト8・瀬藤智史（帯大谷高3年）の話 準々決勝は中盤の大事な場面でミスがあり、粘り切れなかったのが敗因。課題としてきたロブを奥にしっかりと打てたことは良かった点。スマッシュなど力強く押していくプレーを身に付けたい。

硬くなり遅れた

少年女子シングルスベスト8・中鉢青空（帯大谷高3年）の話 準決勝で敗れた土佐（梨緒菜・旭川実高3年）さんには3、4回目の対戦だったが、以前よりも球の速さが強く、体が追い付いていけなかった。勝ちたいという意識が強くて体が硬くなり、反応が遅れた。気持ちに余裕を持ち、試合を楽しめるようにしていきたい。

【少年女子シングルス】持ち味のフットワークでシャトルに食らい付く中鉢青空（帯大谷高）

【女子】〈少年〉

◇ダブルス▽1回戦

砂山萌・森小羽（帯南商高）2―0 伊藤汐音・青山みゆき（室蘭栄高）

内田千晴・奥田梨乃（帯三条高）2―0 菅原詩月・高木沙英（帯大谷高）

横田美侑・佐藤鼓柊（旭川実高）2―0 長谷川朝香・川村夏音・小樽潮陵高）

石田朱里・武下亜美（帯南商高）猪飼彩夏・武藤瑚々（根室高）不戦勝

（決勝以外関係分）

▽3回戦

山田桜生・山家くるみ（とわの森三愛高）2―0 能登絢花・水戸ひより（北星学園女子高）

河原しいな・小林涼嘉（とわの森三愛高）2―1 菅原・高木（帯大谷高）

濱下亜美・江口碧（帯大谷高）2―1 金濱萌華・熊谷星来（帯南商高）

内田・奥田 2―0 砂山・森

本間陽・藤川麻愛（帯柏葉高）2―0 中鉢青空・木村百華（帯大谷高）

藤堂悠菜・藤井りる（とわの森三愛高）2―0 山下恋珀・藤山彩名（滝川西高）

石田・武下 2―0 平井咲香・狩野和奏（旭川南高）

濱下・江口 2―0 河内凛央・江刺心愛（遺愛女子高）

▽準々決勝

青柳遥・坂本美緒（札幌静修高）2―0 加藤寿々花・堀乃愛（遺愛女子高）

濱下・江口 2―0 畠山智美・川合亜子（小牧南高）

▽準決勝

甲斐穂野香（北翔大）不戦勝

濱下・江口 2―1 青柳・坂本

▽決勝

濱下・江口 2―0 藤堂・藤井

【男子】〈少年〉

◇ダブルス▽1回戦

獅子原瑚桜・嶋村瑞希（旭川南高）2―0 濱下・江口

◇シングルス▽1回戦

川西美咲（帯南商高）2―0 武藤瑚々（根室高）

中鉢青空（帯大谷高）2―0 奥田梨乃（帯三条高）2―1 熊谷星来（帯南商高）2―0 高木沙英（帯大谷高）2―1 内田千晴（帯三条高）2―0 原田真衣（岩見沢東高）

▽2回戦

土佐（梨緒菜・旭川実高）2―0 川西

小林涼嘉（とわの森三愛高）2―0 高橋暖乃（函館工高）

▽3回戦

内田桜生（とわの森三愛高）2―0 奥田

藤堂悠菜（とわの森三愛高）2―1 河原しいな（とわの森三愛高）

熊谷（帯大谷高）2―1 江口碧（帯大谷高）

濱下亜美（帯大谷高）2―0 山家くるみ（とわの森三愛高）

中鉢（帯大谷高）2―0 青柳（札幌静修高）

▽準々決勝

濱下（帯大谷高）2―0 中鉢

藤井りる（とわの森三愛高）2―1 三上（旭川実高）

高橋暖乃（とわの森三愛高）2―0 那須（帯大谷高）

内田 2―0 奥田

高木 2―1 田鉢

▽準決勝

濱下・江口 2―1 山家

▽決勝

濱下・江口 2―0 藤堂

◇成年▽

◇ダブルス▽1回戦

関根千弥・北翔大＝北翔大 2―0 宮平聖菜（札幌静修高）

濱下・江口 2―1 濱下・佐土

▽準々決勝

濱下・江口 2―0 中鉢

▽準決勝

濱下・江口 2―1 濱下

▽決勝

濱下・江口 2―0 熊谷

◇シングルス▽1回戦

月谷海綾・高（北翔大）2―0 帯大谷高

石田・武下 2―0 平井咲香・狩野和奏（旭川南高）

▽3回戦

山田桜生・山家くるみ（とわの森三愛高）2―0 河原しいな・小林涼嘉（とわの森三愛高）

濱下亜美・江口碧（帯大谷高）2―1 菅原・高木（帯大谷高）

▽準々決勝

内田・奥田 2―0 本間・藤川（帯柏葉高）

▽準決勝

濱下・江口 2―1 内田・奥田

▽決勝

濱下・江口 2―0 熊谷・川西

◇シングルス▽1回戦

甲斐穂野香・竹澤知穂（北翔大）2―0 棄権

▽準々決勝

甲斐穂野香（北翔大）不戦勝

▽準決勝

濱下・江口 2―1 関根・鈴木

▽決勝

濱下・江口 2―0 内山真希・佐藤明（北翔大）

◇ダブルス▽1回戦

石澤未夢・塚本あゆみ（PLEN）2―1 片山琴美・澤沼音里＝旭川実高

◇シングルス▽1回戦

月七海綾・高（北翔大）2―0 帯大谷高

石田・武下 2―0 石原聡弓・北翔大＝北翔大

▽2回戦

内山真希（北翔大）2―0 深田百香（北翔大）

▽3回戦

内山真希（北翔大）2―0 中村（北翔大）

▽準々決勝

内山真希（北翔大）2―0 澤沼

▽準決勝

澤沼 2―0 鈴木理子（JR北海道）

▽決勝

澤沼 2―0 中村

【男子】〈少年〉

◇ダブルス▽1回戦

末永健太郎・中畑碧唯（帯工高）2―0 越川匠・高橋史玖（帯柏葉高）

内山 2―1 谷川（北翔大）

小山蒼太・門馬巧明（北見商高）2―0 久米紘平・南琉（苫小牧東）

高橋侑杜・森芦澤侑哩（帯緑陵高）2―0 石原

▽2回戦

内山真希（北翔大）2―0 石澤未夢（PLEN）

▽準々決勝

佐藤萌（北翔大）2―0 澤沼

▽準決勝

澤沼 2―0 石原

▽決勝

石原聡弓・北翔大＝北翔大 2―0 深田百香（北翔大）

◇シングルス▽1回戦

佐藤虎生（深川西高）2―0 竹田（函館工高）

▽2回戦

小島滉貴（旭川実高）2―0 小山内康晴（函館工高）

竹田任希・池田（函館高）2―0 西村泰輝（札幌第一高）

▽3回戦

中塩爽太（旭川実高）2―0 小原琉星（北海高）

▽準々決勝

北條李桜（深川西高）2―0 不戦勝

▽準決勝

北條李桜（深川西高）2―1 菊池蓮（帯三条高）

▽決勝

北條李桜（深川西高）2―0 畠山・河北

◇シングルス▽1回戦

佐々木颯太・伊藤彰悟（旭川実高）2―0 瀬藤・廣瀬

▽2回戦

畠山大和・河（札幌龍谷）2―0 越川・高橋

▽3回戦

越川・高橋 2―0 瀬藤智史・廣瀬（帯大谷高）

▽準々決勝

瀬藤・廣瀬 2―1 瀬藤・廣瀬

▽準決勝

瀬藤・廣瀬 2―0 越川・高橋

▽決勝

越川・高橋 2―0 末永・中畑（帯工高）

◇成年▽

◇ダブルス▽1回戦

寺島慧悟・土田翔太（室蘭栄高）2―0 今遼真・山田琉生（札幌北斗）

▽2回戦

鎌田大翔・太田大輝（道科学大）2―0 竹田任希・佐藤龍希（池田高）

▽3回戦

佐藤翔映・砂川（高）2―1 岡村優音・小幡圭真（帯農高）

▽準々決勝

高橋開斗・函大有斗 2―0 小田島脩介・森本凱（帯農高）

▽準決勝

長田昊途・三上（旭川実高）2―0 高橋侑杜・井上孔揮（帯緑陵高）

▽決勝

西琉生・寺（高）2―1 山下諒真・平岡大馳（帯緑陵高）

▽3回戦

堀田蓮・寺（高）2―0 末永・中畑

吉村涼吾・苫小牧工 2―0 高津翔太・山岸秀悠（札幌北斗）

▽準々決勝

佐藤翔映・高（函大有斗）2―0 越川・高橋

▽準決勝

越川・高橋 2―1 瀬藤・廣瀬

▽決勝

瀬藤・廣瀬 2―0 越川・高橋

◇シングルス▽1回戦

長谷川朝香・川村夏音・小樽潮陵高）2―0 菅原詩月・高木沙英（帯大谷高）

▽2回戦

内田千晴・奥田梨乃（帯三条高）2―0 横田美侑・佐藤鼓柊（旭川実高）

▽3回戦

内田千晴・奥田梨乃（帯三条高）2―0 石田朱里・武下亜美（帯南商高）

▽準々決勝

内田千晴・奥田梨乃（帯三条高）2―0 石田・武下

▽準決勝

内田千晴・奥田梨乃（帯三条高）2―0 内田・奥田

▽決勝

内田千晴・奥田梨乃（帯三条高）2―0 能谷・川西

◇シングルス▽1回戦

能登絢花・水戸ひより（北星学園女子高）2―0 中鉢青空・木村百華（帯大谷高）

▽2回戦

熊谷星来・川西美咲（帯南商高）2―0 山下恋珀・藤山彩名（滝川西高）

▽3回戦

金濱萌華・渡辺真歩（とわの森三愛高）2―0 砂山・森

▽準々決勝

畠山智美・川合亜子（小牧南高）2―0 加藤寿々花・堀乃愛（遺愛女子高）

▽準決勝

加藤寿々花・堀乃愛（遺愛女子高）2―0 菅原・高木

▽決勝

菅原・高木 2―1 河内凛央・江刺心愛（遺愛女子高）

◇ダブルス▽2回戦

獅子原瑚桜・嶋村瑞希（旭川南高）2―0 濱下・江口

◇シングルス▽1回戦

中村梨乃・室蘭東翔（根室高）2―0 武藤瑚々（根室高）

▽2回戦

古谷小梅（函館工高）2―0 中村梨乃・室蘭東翔（根室高）

▽3回戦

原田真衣（岩見沢東高）2―0 古谷小梅（函館工高）

▽準々決勝

原田真衣（岩見沢東高）2―0 石澤未夢（PLEN）

▽準決勝

原田真衣（岩見沢東高）2―0 石澤未夢（PLEN）

▽決勝

原田真衣（岩見沢東高）2―0 石澤未夢（PLEN）

◇シングルス▽1回戦

瀬藤智史（帯大谷高）2―0 植村慎吾（札幌龍谷高）

▽2回戦

瀬藤智史（帯大谷高）2―0 伊藤彰悟（旭川実高）

▽3回戦

瀬藤智史（帯大谷高）2―0 瀬ケ平羽玖（武修館高）

▽準々決勝

瀬藤智史（帯大谷高）2―1 畠山大和（札幌龍谷高）

▽準決勝

瀬藤智史（帯大谷高）2―0 松本

▽決勝

瀬藤智史（帯大谷高）2―0 松本

◇ダブルス▽2回戦

岡村尚輝（北大）＝帯 2―0 林孝恒・佐々木光（帯大谷高）

▽3回戦

岡村尚輝（北大）＝帯 2―0 大谷高出＝帯

▽準々決勝

岡村和・加藤（札幌龍谷）2―0 福村龍勇・大（札幌大）

▽準決勝

岡村和・加藤（札幌龍谷）2―0 山村勇人・太田・山口

◇シングルス▽1回戦

岡村尚・塚本（RHSPIT）2―0 梅村恒多・成田大輔（SMAS）

▽2回戦

岡村尚・塚本（RHSPIT）2―0 梅村恒多・関根陸（SMAS）

▽3回戦

岡村尚・塚本（RHSPIT）2―0 清水史・中村僚介（札幌市役所・JOY）

▽準々決勝

岡村尚・塚本（RHSPIT）2―0 岡村和・加藤（札幌龍谷）

▽準決勝

岡村尚・塚本（RHSPIT）2―0 岡村和・加藤（札幌龍谷）

▽決勝

岡村尚・塚本（RHSPIT）2―0 岡村和・加藤（札幌龍谷）

◇ダブルス▽2回戦

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽3回戦

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽準々決勝

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽準決勝

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽決勝

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

◇シングルス▽1回戦

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽2回戦

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽3回戦

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽準々決勝

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽準決勝

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽決勝

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

◇シングルス▽1回戦

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽2回戦

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽3回戦

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽準々決勝

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽準決勝

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）

▽決勝

太田理・小（道）2―0 佐々木颯太・島（旭川実高）